

報告日 令和5年6月2日
報告回次 2日目

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

| | | | | | |
|-------|-----------------------|-------|-------|-----------|---------------------------------|
| 団体名 | 宮城県石巻市 | | | 代表者名 | 齋藤 正美 |
| 担当者部署 | 復興企画部 | | | 連絡先電話番号 | 0225951111 |
| 担当者役職 | 主事 | 担当者氏名 | 千坂 祥平 | 連絡先E-mail | isinfopol@city-ishinomaki.lg.jp |
| 住所 | 9868501 宮城県石巻市穀町14番1号 | | | | |

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

| | |
|---------|---------|
| 推薦団体名 | （複数登録可） |
| （複数登録可） | |

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

| | |
|----------------------------|--|
| アドバイザー | 庄司 昌彦 |
| 評価 | 大変よい |
| 上記評価の理由（どのようによからなかったか等詳細に） | 親しみやすい人柄で、自身の持つ豊富な知見から自治体がDXに取り組まなければならない背景やアナログ改革の必要性について分かりやすく伝えいただいたこと。 |
| アドバイザーへの要望事項 | DXの取組がまだまだ進んでいない自治体も多いと思うので、引き続き今回講演いただいた内容を自治体に伝えていっていただきたい。 |

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

| 対応日・時間 | 派遣日予定日（申請書より） | 支援内容（申請書より） | 期日・支援内容の変更あり | | |
|--------------|---------------|-------------------|--------------|------------|----------|
| | 令和5年5月26日 | 講演(実地) | 無 | | |
| | 実施した派遣日 | 実施した支援内容 | 開始時刻 | 終了時刻 | 内休憩時間（分） |
| | | | 10時00分 | 16時00分 | 120 |
| | | | | 活動時間（分） | 240 |
| 3-2. 派遣場所 | 会場名 | 石巻市防災センター2階多目的ホール | | 最寄駅 | 石巻駅 |
| | 所在地 | 宮城県石巻市穀町12-1 | | 最寄駅からの交通手段 | 徒歩 |

4. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

| | |
|------|---|
| 掲載許可 | <input checked="" type="checkbox"/> 掲載可 |
|------|---|

<https://www.r-ict-advisor.ip/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

| 5-1. 支援を受けた対象者 | 属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】 | 人数 |
|--|--|------|
| | 職員 | 63 人 |
| 5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果 | | |
| 事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい) | 当市では、「市民サービスの利便性向上」と「効率的・効果的な行財政運営」の実現を目的としたDX推進のための全体方針として「石巻市DX推進方針」を策定し、令和7年度までルールや仕組の見直しとデジタル技術やデータを活用したDXに取り組むとしているが、デジタル技術を活用するための事務のルールや仕組を見直すBPR推進の機運やオープンデータの公開やEBPMの取組などデータ活用推進の機運がまだまだ不足している状況となっている。 | |
| 支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい) | 地域情報化アドバイザーによる講演をきっかけに、デジタル技術を活用するための既存のルールや仕組の積極的に見直す機運、データを積極的に活用する機運が、組織運営をけん引する役割を担う幹部職員と管理担当部門の職員に醸成され、そこから組織全体として実務面で「BPR」「EBPM」「デジタル技術の活用」が推進されること。 | |
| アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい) | 自治体におけるDXとはどのような取組をすべきか、具体例を交えながら職階に応じた分かりやすい説明をいただき、それぞれの立場でどのようなことを意識しながら業務に取り組むべきか助言をいただいた。 | |
| 支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい) | 講演の参加者へアンケートを実施した結果、DX推進のためにそれぞれの立場で自らが果たすべき役割や自らの業務において取り組むことができそうなDXの取組について、前向きな意見が得られた。 | |

| | |
|---|--|
| | |
| 具体的な成果物 | 最も当てはまるものをリストより選択下さい。⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない |
| 改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください) | 特になし |
| アンケートの内容と分析結果 | 講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 |
| 5-3. 今後の計画 | 最も当てはまるもののリストより選択下さい ⑤その他 |
| 事業の最終的な目指す姿 | 講演の内容を踏まえて、DX推進に向けた職員の意識が向上し、身の回りの細かな実務に職員が「BPR」「EBPM」「デジタル技術の活用」を実践できるようになること。 |

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

2023.5.26 地域情報化アドバイザー派遣 2日目 写真

午前の部（幹部職員）



午後の部（管理担当部門）



